

令和 5年度予算見積調書

課室名：建設管理課
 担当名：技術管理担当
 内線：5201

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P116	インフラ建設管理におけるDX戦略の推進			一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	土木技術管理費	
事業期間	令和4年度～ 令和9年度	根拠 法令	公共工事の品質確保に促進に関する法律第3条の11		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築		SDGsゴール 9
					分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上		SDGsターゲット 9-1
1 事業概要 全ての建設生産プロセスにおいて3Dデータを活用し、建設業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する。 ア インフラデータ活用基盤の整備 122,600千円 イ 電子納品保管管理システム開発 29,172千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア インフラデータ活用基盤の整備 122,600千円 イ 電子納品保管管理システム開発 29,172千円 (2) 事業計画 県土整備部では、道路、河川の3Dデータを始め、管理施設の点検データや防災情報等の大容量のインフラデータを管理しており、これらのデータを格納する保管庫を整備する。 また、全庁GISとデータ連携を行い、地図上から、簡単にインフラデータを検索して活用できる環境を構築する。 インフラデータ活用基盤の整備は、R4年度に要件検討、電子納品保管管理システムは、ガイドライン整備を行い、いずれもR5年度に仕組みを構築し、R6年度の早期運用を目指す。 (3) 事業効果 全ての建設生産プロセスにおいて、3Dデータを始めとするインフラデータの利活用を促進することで、受発注者ともに作業時間の削減や精度向上が図られ、建設業全体の生産性が向上する。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.6人=5,700千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金							
決定額	151,772							151,772	131,928
前年額	19,844	19,844						0	

事業内訳書

事業名	インフラ建設管理におけるDX戦略の推進		
単位事業名	インフラ建設管理におけるDX戦略の推進	予算額	151,772千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	151,772	131,928	インフラデータ活用基盤の整備 122,600千円 電子納品保管管理システム開発 29,172千円
合計	151,772	131,928	